

概要 (P l an)	事業概要															
	管理番号	181	事務事業名	広報広聴事務	総合計画 体系	章 6	節 1	分野 1	施策 +1-1	総コスト 50,839						
	事業概要	SNSの活用、広報紙リニューアル、ホームページなど多様な媒体を活用した情報提供と意見収集。出前講座や市長と市民の直接対話による広聴活動。「映(ば)える」スポット、モノなどまちの魅力を発信						担当所属	秘書広報課							
	取組実績															
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度								
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙・ホームページの充実(広報紙リニューアル) ・SNSの活用 ・出前講座の開催 ・市民みらいミーティングの開催 			<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙・ホームページの充実 ・SNSの活用 ・出前講座の開催 ・市民みらいミーティングの開催 ・市民満足度調査の実施 ・くらしの便利帳発行 			<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙・ホームページの充実 ・SNSの活用 ・出前講座の開催 ・市民みらいミーティングの開催 ・くらしの便利帳発行 								
	事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ○広報京たなべの発行…年間22回、782,732部発行 ○公式フェイスブック・ツイッター発信…1,307件（うち動画投稿23件） ○出前講座の開催…16講座、325人受講 ○市民みらいミーティングの開催…8回 ○市政ご意見箱・アイデアポストによる意見収集…167件 ○市政モニター…全3回実施、309人登録、平均回答率17.3% 			<ul style="list-style-type: none"> ○広報京たなべの発行…年間16回、571,296部発行 ○公式フェイスブック・ツイッター発信…1,801件（うち動画投稿9件） ○出前講座の開催…21講座、194人受講 ○市民みらいミーティングの開催…5回 ○市政ご意見箱・アイデアポストによる意見収集…270件 ○LINEアンケート…全4回実施 			<ul style="list-style-type: none"> ○広報京たなべの発行…年間12回、435,298部発行 ○公式フェイスブック・ツイッター発信…1,536件（うち動画投稿6件） ○出前講座の開催…22講座、589人受講 ○市民みらいミーティングの開催…5回 ○市政ご意見箱・アイデアポストによる意見収集…83件 ○LINEアンケート…全15回実施 			<ul style="list-style-type: none"> ○広報京たなべの発行…年間12回、441,834部発行 ○公式フェイスブック・ツイッター発信…1,168件（うち動画投稿0件） ○出前講座の開催…42講座、1,133人受講 ○市民みらいミーティングの開催…6回 ○市政ご意見箱・アイデアポストによる意見収集…94件 ○LINEアンケート…全17回実施 					
					年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度							
	指標	SNSのフォロワー数			目標	3,400	4,000	11,500	14,000							
	単位 件				実績	3,872	10,385	12,769	14,812							
	指標	広報紙プレゼントクイズの応募件数			目標	700	1,000	1,200	1,200							
	単位 件				実績	945	1,574	1,358	2,808							
	指標	市民みらいミーティングの開催回数			目標	12	12	12	12							
	単位 回				実績	8	5	5	6							
C (評価)	取組評価															
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度								
	1次 評価	達成度	C. 目標を達成していない (達成率80%未満)		A. 目標を達成している (達成率100%以上)		B. 概ね目標を達成している (達成率80%以上)		A. 目標を達成している (達成率100%以上)							
		備考	市民みらいミーティング：R2.4月～8月はコロナ禍により開催できず		新たなSNSとしてLINEを導入し		市民みらいミーティングについては、コロナの感染拡大防止や、市長選挙に配慮し、開催回数を調整した		LINEアンケート配信時に賞品写真を添付することで訴求力が増し回答数が大幅に増加した							
	次年度以降の対応															
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度								
	2次 評価	次年度 への方 向性	B. 維持 (コストを同程度に維持する)		B. 維持 (コストを同程度に維持する)		B. 維持 (コストを同程度に維持する)		B. 維持 (コストを同程度に維持する)							
		備考														

概要 (P l an)	事業概要											
	管理番号	186	事務事業名	情報化推進事業	総合計画体系	章 6	節 3	分野 1	施策 +1-2	総コスト 404,551		
	事業概要	行政事務の効率化を図るため、システム化の推進及び情報システムの適正管理、AI-OCR、RPAなどによる事務作業の効率化推進						担当所属	デジタル情報課			
	取組実績											
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度				
	事業計画	・情報システムの更新		・情報システムの更新		・情報システムの更新		・情報システムの更新				
	事業実績	○ファイルサーバ更新 • ファイルサーバを安定的に稼働させるため、新しいファイルサーバにデータを更新（移行）した。 ○地域インターネット更新 • ネットワークを安定的に稼働させるためネットワーク機器を更新した。		○無線環境構築業務 • 京田辺市のネットワークを無線で利用できる環境を構築した。 ○情報端末更新 • 情報端末を更新し、行政事務を安定して運用するとともに、ネットワークの無線化と併せて柔軟な執務体制が取れる環境を整備した。		○行政事務システムを仮想環境で安定的に稼働させるため、仮想化基盤サーバを更新した。 ○庁内の無線ネットワーク環境に合わせて全職員の情報端末をモバイル型に更新するとともに認証システムを更新し、柔軟な執務体制が取れる環境を拡充した。 ○庁内の情報共有と業務効率化を促進するため、グループウェアを更新した。		○モバイル端末の普及に伴い、市民にインターネット環境を提供するため公共施設に設置している端末を公衆無線LANサービスに置き換えるなど、ネットワーク機器を更新した。 ○情報端末のセキュリティを確保し適正に管理・運用するため、端末管理サーバを更新した。				
					年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	指標	情報システム更新率			目標	100.0	100.0	100.0	100.0			
	単位 %				実績	100.0	94.4	100.0	100.0			
	指標				目標							
	単位				実績							
	指標				目標							
	単位				実績							
C (評価)	取組評価											
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度				
	1次評価	達成度	A. 目標を達成している（達成率100%以上）		B. 概ね目標を達成している（達成率80%以上）		A. 目標を達成している（達成率100%以上）		A. 目標を達成している（達成率100%以上）			
		備考	ビジネスチャットツールの導入やテレワーク環境の整備により、多様な働き方による効率的な行政運営に取り組んだ。		ビジネスチャットツールやウェブ申請プラットフォームの本格運用を開始し、効率的な行政運営に取り組んだ。							
	次年度以降の対応											
A (行動)		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度				
	2次評価	次年度への方 向性	B. 維持（コストを同程度に維持する）		B. 維持（コストを同程度に維持する）		C. 縮小（コストを減少させる）		B. 維持（コストを同程度に維持する）			
		備考					大型サーバ類の更新が重なったこと、情報端末を更新したことにより、令和4年度のみ臨時にコストが増大したため。					

概要 (P l an)	事業概要											
	管理番号	187	事務事業名	マイナンバーカード普及・利活用促進事業	総合計画体系	章 6	節 3	分野 施策 1	重点P +1-2	総コスト 256,016		
	事業概要	個人番号（マイナンバー）カードの普及・利活用促進により、市民生活の利便性向上を推進する。						担当所属	デジタル情報課・市民年金課			
	取組実績											
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度				
	事業計画	個人番号カードの取得促進		個人番号カードの普及促進		個人番号カードの利活用促進		個人番号カードの利活用促進				
	事業実績	○マイナンバー（個人番号）カード等の発行を迅速かつ正確に行つた。 ・マイナンバー（個人番号）カード等の発行枚数 9,920 枚		○マイナンバー（個人番号）カード等の発行を迅速かつ正確に行つた。 ・マイナンバー（個人番号）カード等の発行枚数 12,222 枚		○マイナンバーカード等の発行を迅速かつ正確に行つた。 ・マイナンバーカード等の発行枚数 15,408 枚 ○マイナポイントの申し込み手続きを支援した。 ・マイナポイント申込手続支援数 11,915 件		○マイナンバーカードの発行を迅速かつ正確に行つた。 ・マイナンバーカードの発行枚数 10,241 枚 ○マイナポイントの申し込み手続きを支援した。 ・国マイナポイント申込手続支援数 6,242 件 ○自治体マイナポイント事業を実施し、市民34,664人に5,000円分の京たなべマイナポイントを付与した。				
					年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	指標	個人番号カード交付枚数（年度毎）			目標	4,000	10,000	10,000	10,000			
	単位 枚				実績	9,920	12,222	15,408	10,241			
	指標	広報掲載回数			目標			2	2			
	単位 回				実績			3	2			
	指標	マイナポイント申込支援実施率			目標			50.0	50.0			
	単位 %				実績			77.0	72.6			
取組評価												
C (評価)		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度				
	1次評価	達成度	A. 目標を達成している（達成率100%以上）		A. 目標を達成している（達成率100%以上）		A. 目標を達成している（達成率100%以上）		A. 目標を達成している（達成率100%以上）			
A (行動)	2次評価	備考	国が未交付者に対し申請書を送付したこと、マイナポイント事業を行ったことにより大幅に増加した		国が未交付者に対し申請書を送付したこと、マイナポイント事業を行ったことにより大幅に増加した		マイナンバーカード出張申請サポート事業及びマイナポイント事業の実施により申請数が急増し、目標を達成することができた。					
	次年度以降の対応											
A (行動)		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度				
	2次評価	次年度への方 向性	B. 維持（コストを同程度に維持する）		B. 維持（コストを同程度に維持する）		A. 拡充（コストを増加させる）		D. 休廃止（コストをゼロとする）			
	備考	国庫100%の事業であるため市では方向性を定められない 令和4年度以降は、直接JLISに事業費が支払われる		マイナンバーカード普及促進事業を引き続き実施するため。		当面、マイナンバーカード利活用促進事業の実施予定がないため。						

概要 (P l an)	事業概要									
	管理番号	207	事務事業名	戸籍住民基本台帳等証明書交付事業	総合計画体系	章 6	節 3	分野 1	施策 +1-2	総コスト 83,760
	事業概要	適正・厳格な管理の下に正確・迅速な居住関係の記録を行い管理をする。これを基に、住民票の写し等の各種証明書を正確かつ迅速に交付することで、充実した市民サービスを提供し、更なる向上を図って市民の満足度を高める。 また、住民基本台帳ネットワークシステムや公的個人認証サービスによる届出の簡略化、住民票の広域交付や住民基本台帳事務の省力化を図る。						担当所属	市民年金課	
	取組実績									
	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度			
	事業計画	各種証明書の交付を円滑に行う		各種証明書の交付を円滑に行う		各種証明書の交付を円滑に行う		各種証明書の交付を円滑に行う		
	事業実績	○住民票の写し等の各種証明書を正確かつ迅速に交付した。 • 印鑑登録証明関係 22,203件（うち公用 42件） • 住民基本台帳関係 34,773件（うち公用 3,785件） • 戸籍謄抄本関係 9,813件（うち公用 3,280件） • 臨時運行許可関係 290件（うち公用 0件） • 公簿閲覧関係 43件（うち公用 158件） • その他諸証明関係 954件（うち公用 212件）		○住民票の写し等の各種証明書を正確かつ迅速に交付した。 • 印鑑登録証明関係 21,111件（うち公用 48件） • 住民基本台帳関係 35,008件（うち公用 3,785件） • 戸籍謄抄本関係 11,943件（うち公用 2,503件） • 臨時運行許可関係 280件（うち公用 0件） • 公簿閲覧関係 792件（うち公用 162件） • その他諸証明関係 1,093件（うち公用 212件）		○住民票の写し等の各種証明書を正確かつ迅速に交付した。 • 印鑑登録証明関係 20,494件（うち公用 82件） • 住民基本台帳関係 35,155件（うち公用 3,405件） • 戸籍謄抄本関係 13,052件（うち公用 2,573件） • 臨時運行許可関係 326件（うち公用 0件） • 公簿閲覧関係 251件（うち公用 209件） • その他諸証明関係 1,024件（うち公用 233件）		○住民票の写し等の各種証明書を正確かつ迅速に交付した。 • 印鑑登録証明関係 20,656件（うち公用 74件） • 住民基本台帳関係 32,737件（うち公用 2,015件） • 戸籍謄抄本関係 15,362件（うち公用 3,682件） • 臨時運行許可関係 293件（うち公用 0件） • 公簿閲覧関係 214件（うち公用 178件） • その他諸証明関係 1,430件（うち公用 711件）		
					年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	指標	コンビニ交付 交付件数			目標	2,000	4,000	9,000	13,000	
	単位 件				実績	3,748	8,829	12,079	17,317	
	指標				目標					
	単位				実績					
	指標				目標					
	単位				実績					
C (評価)	取組評価									
	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度			
	1次評価	達成度	A. 目標を達成している (達成率100%以上)	A. 目標を達成している (達成率100%以上)		A. 目標を達成している (達成率100%以上)	A. 目標を達成している (達成率100%以上)			
	備考		マイナンバーカードの交付率上昇にともない増加した。 交付時コンビニ交付について案内をしている。	マイナンバーカードの交付率上昇にともない増加した。 交付時コンビニ交付について案内をしている。		マイナンバーカードの交付率上昇にともない増加した。 交付時コンビニ交付について案内をしている。				
	次年度以降の対応									
A (行動)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度			
	2次評価	次年度への方 向性	B. 維持 (コストを同程度に維持する)	B. 維持 (コストを同程度に維持する)		B. 維持 (コストを同程度に維持する)	B. 維持 (コストを同程度に維持する)			
	備考		マイナンバーカードの交付率上昇にともない増加した。 交付時コンビニ交付について案内をしている。							

概要 (Plan)		事業概要											
		管理番号	208	事務事業名	DX推進事業	総合計画体系	章 6	節 3	分野 1	施策 +1-2	総コスト	21,379	
事業概要	デジタル技術の積極的な活用による行政事務の効率化、デジタル社会にふさわしい行政サービスへの変革							担当所属		デジタル情報課			
取組実績													
	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			
事業計画				・DX推進計画の策定			・行政事務のデジタル化の推進 ・デジタル化に伴う業務改革			・行政事務のデジタル化の推進 ・デジタル化に伴う業務改革			
事業実績							行政事務のデジタル化による業務効率化と市民サービス向上のため、京田辺市DX推進計画を策定するとともに、行政手続のデジタル化に必要となる条例・規則の整備を行った。			行政手続きのオンライン化やBPR支援、AIチャットボットの導入など、DX推進実行計画に定める個別の取組を推進した。			
取組 (Do)					年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度	令和5年度		
		指標	計画策定			目標			計画策定				
		単位				実績			計画策定				
		指標	オンライン申請対応手続き数			目標					10		
		単位				実績					40		
		指標				目標							
		単位				実績							
取組評価													
C (評価)		令和2年度			令和3年度		令和4年度		令和5年度				
		1次評価	達成度				A. 目標を達成している (達成率100%以上)		A. 目標を達成している (達成率100%以上)				
A (行動)		備考											
		次年度以降の対応											
A (行動)		令和2年度			令和3年度		令和4年度		令和5年度				
		2次評価	次年度への方 向性				A. 拡充 (コストを増加させる)		B. 維持 (コストを同程度に維持する)				
		備考						計画に定める推進体制を整備し、個別の取組みを推進する。					

概要 (P l an)	事業概要											
	管理番号	164	事務事業名	下水道使用料適正化事業	総合計画体系	章 5	節 3	分野 施策 7	重点P +1-3	総コスト 29,034		
	事業概要	料金算定期間を4年間とし、収支均衡を図り、下水道使用料を適正化						担当所属	経営管理室			
	取組実績											
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度				
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 下水道使用料改定 経営基盤強化着手 		<ul style="list-style-type: none"> 前年度決算に基づく、収支バランスの確認 		<ul style="list-style-type: none"> 前年度決算に基づく、収支バランスの確認 次期料金算定期間に向けた準備 		<ul style="list-style-type: none"> 上下水道事業経営戦略中間改定準備 次期料金算定期間に向けた準備 				
	事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 京田辺市上下水道事業経営審議会答申 下水道ビジョン・上下水道事業経営戦略の策定 経営戦略を踏まえた新たな料金体系提示 令和2年度12月議会において料金改定条例を可決 令和3年7月から料金改定を実施 		○令和3年7月から料金改定を実施		○令和3年7月から料金改定を実施		○京田辺市水道・下水道ビジョン等進捗管理に伴う基礎調査業務委託の実施				
				年度	令和2年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	指標	経費回収率(公共下水道事業)		目標	70.0		90.0	100.0	100.0			
	単位 %			実績	78.5		95.9	103.7	107.0			
	指標			目標								
	単位			実績								
	指標			目標								
	単位			実績								
C (評価)	取組評価											
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度				
	1次評価	達成度	B. 概ね目標を達成している(達成率80%以上)		B. 概ね目標を達成している(達成率80%以上)		B. 概ね目標を達成している(達成率80%以上)		A. 目標を達成している(達成率100%以上)			
		備考	令和2年度12月議会において、料金改定条例を可決し、令和3年7月からの料金改定を実施する。		令和3年7月から使用料改定を行った。		令和3年7月から使用料改定を行った。		令和3年7月から使用料改定を行った。			
	次年度以降の対応											
A (行動)		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度				
	2次評価	次年度への方 向性	B. 維持(コストを同程度に維持する)		B. 維持(コストを同程度に維持する)		B. 維持(コストを同程度に維持する)		B. 維持(コストを同程度に維持する)			
		備考	R3に向けて、使用料改定を行い、経費回収率100%を目指す。		R3.7から使用料改定を行った。経費回収率100%を目指す。		R3.7から使用料改定を行った。経費回収率100%を目指す。		R3.7から使用料改定を行った。経費回収率100%を目指す。			

概要 (P l an)	事業概要													
	管理番号	191	事務事業名	行政改革推進事業	総合計画体系	章 6	節 3	分野 3	施策 +1-3	総コスト 2,658				
	事業概要	新たな行政改革実行計画に基づき、「行政経営改革」と「財政健全化」を推進。市民との協働、質の高い行政サービス、効率的な行政運営などに取り組むもの						担当所属	企画調整室					
	取組実績													
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度						
	事業計画	・行政改革実行計画の進捗管理			・行政改革実行計画の進捗管理			・行政改革実行計画の進捗管理 ・行政改革大綱の策定準備 ・次期行政改革実行計画の策定準備						
	事業実績	行政改革実行計画（令和2年度～令和5年度）について、年度途中で進捗状況の把握、年度終了後に取組結果のヒアリングを実施、進捗状況の把握を行った。また、年度末には令和2年度の実行プログラムの進捗状況について取りまとめを行った。			行政改革実行計画（令和2年度～令和5年度）について、年度途中で進捗状況の把握、年度終了後に取組結果のヒアリングを実施、進捗状況の把握を行った。			行政改革実行計画（令和2年度～令和5年度）について、年度途中で進捗状況の把握、年度終了後に取組結果のヒアリングを実施、進捗状況の把握を行った。 また、令和6年度以降の新たな行政改革大綱を令和6年3月に策定するとともに、大綱に基づく新たな実行計画の策定のための事業選定等、策定準備を進めた。						
					年度	令和2年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度				
	指標	行政改革実行計画に掲げる事業の達成状況			目標	100.0		100.0	100.0	100.0				
	単位 % 目標				実績	95.0		95.0	98.0	96.0				
	指標				目標									
	単位 目標				実績									
	指標				目標									
	単位 実績				実績									
	取組評価													
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度						
	1次評価 達成度	B. 概ね目標を達成している (達成率80%以上)	B. 概ね目標を達成している (達成率80%以上)		B. 概ね目標を達成している (達成率80%以上)		B. 概ね目標を達成している (達成率80%以上)		B. 概ね目標を達成している (達成率80%以上)					
	備考	行政改革実行計画（令和2年度～令和5年度）の令和2年度取組結果のとりまとめ	行政改革実行計画（令和2年度～令和5年度）の令和3年度取組結果のとりまとめ		行政改革実行計画（令和2年度～令和5年度）の令和4年度取組結果のとりまとめ		行政改革実行計画（令和2年度～令和5年度）の令和5年度取組結果のとりまとめ		行政改革実行計画（令和2年度～令和5年度）の令和5年度取組結果のとりまとめ					
	次年度以降の対応													
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度						
	2次評価 次年度への方 向性	B. 維持 (コストを同程度に維持する)	B. 維持 (コストを同程度に維持する)		B. 維持 (コストを同程度に維持する)		B. 維持 (コストを同程度に維持する)		B. 維持 (コストを同程度に維持する)					
	備考	行政改革実行計画（令和2年度～令和5年度）について、引き続き進行管理を行う必要があるため。	行政改革実行計画（令和2年度～令和5年度）について、引き続き進行管理を行う必要があるため。		行政改革実行計画（令和2年度～令和5年度）について、引き続き進行管理を行う必要があるため。		行政改革実行計画（令和2年度～令和5年度）について、引き続き進行管理を行う必要があるため。		次期計画となる行政改革実行計画（令和6年度～令和9年度）について、引き続き進行管理を行う必要があるため。					

概要 (P l an)	事業概要											
	管理番号	188	事務事業名	第4次総合計画まちづくりプランレビュー	総合計画体系	章 6	節 3	分野 1	施策 +1-4	総コスト 725		
	事業概要	限られた財源を効率的かつ効果的に活用するため、まちづくりプランのレビューを実施し、重点プロジェクトなどの実効性のある進捗管理を推進						担当所属	企画調整室			
	取組実績											
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度				
	事業計画	第4次総合計画まちづくりプランレビューの実施		第4次総合計画まちづくりプランレビューの実施		第4次総合計画まちづくりプランレビューの実施		第4次総合計画まちづくりプランレビューの実施				
	事業実績	令和3年度の本格実施に向け準備を進めた。		8月に全ての部署を対象としたまちづくりプランレビューを実施した。		8月に全ての部署を対象としたまちづくりプランレビューを実施した。		8月に全ての部署を対象としたまちづくりプランレビューを実施した。				
					年度	令和2年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	指標	重点プロジェクト対象事業の目標達成状況			目標	-		80.0	90.0	100.0		
	単位 %				実績	-		55.8	92.0	86.0		
	指標				目標							
	単位				実績							
	指標				目標							
	単位				実績							
C (評価)	取組評価											
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度				
	1次評価	達成度	B 概ね目標を達成している(達成率80%以上)		B 概ね目標を達成している(達成率80%以上)		B 概ね目標を達成している(達成率80%以上)		B 概ね目標を達成している(達成率80%以上)			
		備考										
A (行動)	次年度以降の対応											
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度				
	2次評価	次年度への方 向性	B. 維持(コストを同程度に維持する)		B. 維持(コストを同程度に維持する)		B. 維持(コストを同程度に維持する)		B. 維持(コストを同程度に維持する)			
		備考										

概要 (P l an)	事業概要																
	管理番号	184	事務事業名	地学連携推進事業	総合計画 体系	章 6	節 2	分野 1	施策 +1-5	総コスト 13,462							
	事業概要	同志社などとの「連携協力に関する協定」に基づき、大学などの特徴を生かした連携事業を推進。大学などの連携推進の新たな仕組みづくりを検討							担当所属	市民参画課							
	取組実績																
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度									
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 大学・地域パートナーシップ研究事業の実施 同志社大学、同志社女子大学連携研究事業の実施 京田辺市大学連携ディスカバリーベースの運用 			<ul style="list-style-type: none"> 大学・地域パートナーシップ研究事業の実施 大学連携地域貢献研究事業の実施 京田辺市大学連携ディスカバリーベースの運用 			<ul style="list-style-type: none"> 大学・地域パートナーシップ研究事業の実施 大学連携地域貢献研究事業の実施 京田辺市大学連携ディスカバリーベースの運用 			<ul style="list-style-type: none"> 大学・地域パートナーシップ研究事業の実施 大学連携地域貢献研究事業の実施 京田辺市大学連携ディスカバリーベースの運用 						
	事業実績	<p>○同志社大学等との連携推進事業を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「同志社クローバー祭2020」の共催（分担金の拠出） ・市民サポーターカードの交付（23人） ・大学・地域パートナーシップ研究事業の実施（実施件数：1件） ○地学連携事業支援 ・同志社大学多々羅キャンパスの積極的かつ継続的な市民への施設開放を促進するため、同志社大学多々羅キャンパス運営費補助金を交付した。 ○京田辺市大学連携ディスカバリーベースの設置 ・大学教員や学生が行う市内での活動を円滑にし、これまで以上に活発にさせる一方で、大学の有する豊富な知識、技術、人材を市立小中学校の教育現場や地域において活用することで、市民にとって大学を身近なものとするとともに、本市の各施策の広がりに資する。 ○京田辺市大学連携情報誌「ディスカバリーベース」の発行 			<p>○同志社大学等との連携推進事業を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「同志社クローバー祭2021」の共催（分担金の拠出） ・市民サポーターカードの交付（28人） ・「同志社大学サイエンスアカデミー2022」開催（小・中学生：139人） ・京都府立大学との児童を対象にした地域学習授業の開催（小4：約180人） ・大学・地域パートナーシップ研究事業の実施（実施件数：1件） ○京田辺市及び同志社大学・同志社女子大学連携研究事業の実施（実施件数：3件） ○京田辺市大学連携ディスカバリーベースの運営 ・大学教員や学生が行う市内での活動を円滑にし、これまで以上に活発にさせる一方で、大学の有する豊富な知識、技術、人材を市立小中学校の教育現場や地域において活用することで、市民にとって大学を身近なものとするとともに、本市の各施策の広がりに資する。 ○京田辺市大学連携情報誌「ディスカバリーベース」の発行 			<p>○協定締結大学との連携事業を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「同志社クローバー祭2022」の共催（分担金の拠出） ・市民サポーターカードの交付（15人） ・「同志社大学サイエンスアカデミー2023」開催（小・中学生：87人） ・京都府立大学との児童を対象にした地域学習授業の開催（三山木小学校：約190人 草内小学校：約45人） ・大学・地域パートナーシップ研究事業の実施（実施件数：1件） ○京田辺市大学連携地域貢献研究事業の実施（実施件数：3件） ○京田辺市大学連携ディスカバリーベースの運営 ・大学教員や学生が行う市内での活動を円滑にし、これまで以上に活発にさせる一方で、大学の有する豊富な知識、技術、人材を市立小中学校の教育現場や地域において活用することで、市民にとって大学を身近なものとするとともに、本市の各施策の広がりに役立てる。 ○広報ほっと京たなべ1月号における「大学連携」特集記事の掲載 			<p>○協定締結大学との連携事業を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「同志社クローバー祭2023」の共催（分担金の拠出） ・市民サポーターカードの交付（15人） ・「同志社大学サイエンスアカデミー2023」開催（小・中学生：87人） ・京都府立大学との児童を対象にした地域学習授業の開催（三山木小学校：約190人 草内小学校：約45人） ・大学・地域パートナーシップ研究事業の実施（実施件数：1件） ○京田辺市大学連携地域貢献研究事業の実施（実施件数：4件） ○京田辺市大学連携ディスカバリーベースの運営 ・大学教員や学生が行う市内での活動を円滑にし、これまで以上に活発にさせる一方で、大学の有する豊富な知識、技術、人材を市立小中学校の教育現場や地域において活用することで、市民にとって大学を身近なものとするとともに、本市の各施策の広がりに役立てる。 ○広報ほっと京たなべ1月号における「大学連携」特集記事の掲載 						
	指標	行政・地域・学校と大学等（教職員・学生団体含む）との連携事業数			目標	140		令和2年度	100		令和3年度	100		令和4年度	100		令和5年度
	単位	件				実績	70		114		133		151				
	指標	学生いきいき補助金交付件数			目標	3		1		2		2		2			
	単位	件				実績	0		2		2		3				
	指標				目標												
	単位				実績												
C (評価)	取組評価																
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度									
	1次評価	達成度	C. 目標を達成していない（達成率80%未満）			A. 目標を達成している（達成率100%以上）		A. 目標を達成している（達成率100%以上）		A. 目標を達成している（達成率100%以上）							
A (行動)	2次評価	備考		コロナ禍の影響により学生の課外活動等が制限された			コロナ禍の影響により学生の課外活動等が制限された										
	次年度以降の対応																
	2次評価	次年度 への方 向性	B. 維持（コストを同程度に維持する）			B. 維持（コストを同程度に維持する）		B. 維持（コストを同程度に維持する）		B. 維持（コストを同程度に維持する）							
		備考															